

マイクロスコープから広がる可能性とその価値

増田梢

医療法人社団八龍会すずき歯科医院 勤務

日本顕微鏡歯科学会認定歯科衛生士

モニターから伝わってくる映像を見て、自分の目で見たいと思ったのが私のマイクロスコープの第一歩でした。やってみるとマイクロスコープは見えること、見せること、伝えることが面白いと思いました。記録し伝えることは大切で、患者さん・歯科医師・歯科衛生士でコミュニケーションが取れるようになりました。

変化したのはアシスタントワークです。先生がどうして欲しいかが分かるようになりました。モニターから伝わってくる情報を共有し、予測できることで、治療に参加していることに喜びを感じます。

医院では学会認定医、認定衛生士でチーム・マイクロを発足し勉強会や情報交換をしています。良いところは褒めあい、改善すべきことを話し合い切磋琢磨しています。歯科医師・歯科衛生士の信頼関係がないとできないのがマイクロスコープです。

今回は歯科衛生士にもマイクロスコープが必要なことを、主に歯周治療から説明させていただきます。

【略歴】

2004.3 (H16) 愛知学院大学歯科衛生専門学校卒業 歯科衛生士免許取得

2004.3 すずき歯科医院勤務

2017.2 (H29) 日本顕微鏡歯科学会認定衛生士取得

現在に至る